

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-175	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	英Ⅱ・331	ATLANTIS <i>Higher Learning</i> English Expression II		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

- 一 言語の特性等を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。
- 二 多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりペアワーク等をしたりすることで、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるような構成とする。
- 三 外国語を通じた世界観に触れ、その有用性や実用性等の知識を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育むと共に、主体的に社会に貢献しようとする態度を養えるような内容を扱う。
- 四 世界を舞台とした題材を選んだり、世界に視点を置いた価値観に触れたりすることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する姿勢に広がりを持てるような構成とする。
- 五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選する。また、我が国について掘り下げて考えることができるよう配慮する。

## 2. 対照表

### A 目次順にそった対照表

図書の構成		内容特に意を用いた点や特色	該当箇所
Natural English		自然な英語表現をよくある間違いと対比して載せた。(第1号)	見出し i ii
Classroom English		生徒が積極的に授業に参加できるよう、よく使う表現についてまとめた。(第1号)	見出し vii viii
U N I T 1	Lesson 1	未来のことを表す仮定法について学ぶ。高校2年生のタジの卒業後の進路について読むことで、自分自身の将来のことについても考える。(第2号)	1 - 2
	Lesson 2	if 節の代用について学ぶ。マリーの不平を読みながら、賛成反対についての意見を交わし合い、互いの価値観について学び深める。(第2号)	3 - 4
	Lesson 3	as if/though を使った仮定法について学ぶ。メキシコ出身のカルロがオーストラリアにホームステイしている様子を読み、幅広い知識を身に付ける。(第1号)	5 - 6
	Unit 1 Drills	Unit 1 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	7 - 8
U N I T 2	Lesson 4	it seems that / it seems to be / it seem to be ~ing について学ぶ。ジャックが同僚のデイブを気にかけてメールを送る。相手を気遣う表現を通して、職場で起こりうる問題を考える。(第2号)	9 - 10
	Lesson 5	強調構文について学ぶ。ブライアンの日課から、彼が強調して相手に伝えたいことは何かを読み取る。(第1号)	11 - 12
	Lesson 6	形式目的語の it について学ぶ。チェイスの趣味と今についてを読み、自分の好きなことが職業につながったケースについて考える。自分が今思う楽しみや大切にしたいことなどについて考え表現する。(第1号)	13 - 14
	Unit 2 Drills	Unit 2 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	15 - 16
U N I T	Lesson 7	(である／であった) と思われている等の表現を学ぶ。バスケットボールが生まれた背景知識について学ぶ。(第1号)	17 - 18
	Lesson 8	関係副詞 how, why について学ぶ。スティーブンがどのようにしてジャズ演奏者になっていったのかを読む。関係副詞を用いて理由や方法について表現する。(第1号)	19 - 20

3	Lesson 9	関係副詞 <b>that</b> について学ぶ。幼少の写真を用いて、家族構成や自分の生い立ちについて表現することで、自分自身の幼少時代を振り返る。(第3号)	21 - 22
	Unit 3 Drills	Unit 3 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	23 - 24
U N I T 4	Lesson 10	動名詞の意味上の主語について学ぶ。近所の人々を描写し、どのように地域社会と自分が関連づいているかについて考える。(第3号)	25 - 26
	Lesson 11	比較級 + <b>than</b> SV について学ぶ。兄弟姉妹等の身近な人々について比較級を用いながら表現し、それぞれの価値観を学び、認め合う。(第2号)	27 - 28
	Lesson 12	分詞構文 過去分詞について学ぶ。エベレスト山の背景知識について学ぶと共に、環境問題やゴミ拾いなどの社会参画について考える。(第3号第4号)	29 - 30
	Unit 4 Drills	Unit 4 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	31 - 32
U N I T 5	Lesson 13	仮定法現在について学ぶ。健康診断を受けた結果について述べる。医者からのアドバイスを相手に説明する力を身に付ける。(第1号)	33 - 34
	Lesson 14	不定詞の受け身 : <b>to be</b> + 過去分詞 (～されること) について学ぶ。マナの高校卒業後の進路について読む。その道が決して自分1人の力で成し遂げたものではなく両親からのサポートがあったことを学び取り、他者との関わりの重要性を深める。(第2号)	35 - 36
	Lesson 15	動名詞の受け身 : <b>being</b> + 過去分詞 (～されること) について学ぶ。ノゾミの転勤について考える。自分がその立場だったら、あるいは相手(夫)だったらどうかについて、それぞれの立場に応じてどのように考えるか見識を深め、男女の雇用等についても考える。(第3号)	37 - 38
	Unit 5 Drills	Unit 5 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	39 - 40
U N I T 6	Lesson 16	完了の分詞構文 : <b>having</b> + 過去分詞について考える。車の運転免許の取得について、アメリカと日本の違いを学ぶ。(第5号)	41 - 42
	Lesson 17	複合関係詞について学ぶ。日本人学習者にとっても理解が難しい項目でもあるので、ケビンのジェニーに対する不平不満について読み取る。複合関係代名詞を的確な場面設定で段階を追って学べるよう意を用いた。(第1号)	43 - 44
	Lesson 18	不定詞の意味上の主語について学ぶ。チェコがジョンに両親を紹介した時のことを振り返る会話を読む。友人間でよく行われる自然な英語表現を身に付ける。(第1号)	45 - 46
	Unit 6 Drills	Unit 6 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	47 - 48
U N I T 7	Lesson 19	<b>be</b> 動詞 + <b>to</b> 不定詞について学ぶ。ベビーシッターをするハンク宛てのメールを読む。ベビーシッターが定着している文化を知り、働く女性について学び取る。(第2号)	49 - 50
	Lesson 20	二重否定について学ぶ。身近にいる面白い人について紹介する文を読む。親しみを込めて相手を描写する方法や、二重否定を用いる場面、及び状況について学ぶ。(第1号)	51 - 52
	Lesson 21	独立分詞構文 ②について学ぶ。ダンの帰省時に起きた悪天候による立ち往生した出来事について読む。時に災害や天災により思わぬ出来事に巻き込まれることがあることについても考える。(第4号)	53 - 54
	Unit 7 Drills	Unit 7 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	55 - 56
U N I T 8	Lesson 22	助動詞 + <b>have</b> + 過去分詞について学ぶ。ティムとマリアが開いたパーティーにこない人がいた。その理由について考える2人の考察を読む。相手の状況を推測する表現を学ぶ。(第1号)	57 - 58
	Lesson 23	未来進行形について学ぶ。タカヒロの高校卒業後の進路について読む。進学が決まり、楽しみにしていることを思い思いに表現し、自己実現できる手掛かりになるよう意を用いた。(第2号)	59 - 60
	Lesson 24	未来完了形 : <b>will have</b> + 過去分詞について学ぶ。医学部3年生のシエナについて読	61 - 62

		む。25歳まで、また30歳までに何を成し遂げていたかについて考察し、将来についての思いを描く。(第2号第3号)	
	Unit 8 Drills	Unit 8 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	63 - 64
UNIT 9	Lesson 25	完了形の動名詞 : <b>having</b> + 過去分詞について学ぶ。エイミーが幼少期にピアノを習い続ける中で抱いた感情と母とのやり取りを読む。小さい頃に嫌だと思ってやめてしまったことが今となっては後悔していることが誰にもでもあることなのかもしれない。自分自身のことと置きかえて考えるきっかけになるよう期待する。(第2号)	65 - 66
	Lesson 26	付帯状況を表す <b>with</b> + 名詞 + 形容詞/前置詞/分詞などについて学ぶ。ナターシャがどうしてもしてしまう悪い習慣について読む。付帯状況の <b>with</b> を用いて自分の日常について表現する。(第1号)	67 - 68
	Lesson 27	過去完了進行形について学ぶ。ジョンとチェコが出会った経緯について読む。時系列に沿ってどんな出来事が起きたのかを順を追って表現できるよう意を用いた。(第1号)	69 - 70
	Unit 9 Drills	Unit 9 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	71 - 72
UNIT 10	Lesson 28	無生物主語について学ぶ。チェコがロスアンゼルスにいるジョンの家族に会った時のことを綴る日記を読む。日記の形式を学び、またチェコの心情を読み取る。日本語訳にポイントが置かれる文法表現を身に付けられるよう意を用いた。(第1号)	73 - 74
	Lesson 29	倒置について学ぶ。ローズの人生についてを読む。倒置が効果的に使われる文章を学び、身に着くよう段階を踏んで紹介する。(第1号)	75 - 76
	Lesson 30	間接話法について学ぶ。海外での結婚式の一例を知る。ダンスをする慣習があること等、日本とは違う結婚式の在り方について考え見識を深める。(第5号)	77 - 78
	Unit 10 Drills	Unit 10 の総復習をし、反復による知識の定着を図る。(第1号)	79 - 80
Charts and Graphs		様々なグラフや統計を読み解く力を身に付ける。社会学や経済学等で用いられる統計を読み解くことで、社会的な知識や見解が深まることを期待する。(第1号)	81 - 85
Debate		自分の意見を述べ、相手の意向を聞く、ディベートの効果的なやり方を身に付ける。自分の考えが相手に伝わるように述べるテクニックを学ぶ。また、自他の意見を認め、自他と協力を重んじる態度が養うことを期待する。(第3号)	86 - 91
Writing (four types of conjunctions, four types of sentences, afterthoughts)		自分の考えを「接続詞」を用いて、できるだけ長く効果的に続けられるよう練習する。これまで3～4文で自分の考えを述べてきたが、さらに文章量を増やすことで少しずつエッセイやビジネスレターなどが書ける力を身に付けていく。今後、大学生や社会人として羽ばたく高校生にとって、社会に出て、十分役立てるような読み応えのある文章が書けることは、大きな自信につながっていくことを期待する。(第1号第2号)	92 - 112
Essay 1 (three-paragraph essay)		自分自身の身近なことについて、エッセイのスタイルに応じて、3つの理由を軸に文章を肉付けしていくテクニックを学ぶ。段階を応じて学んでいくことで、また繰り返し反復して学習していくことで確かな力が身についていくことを期待する。(第1号)	113 - 122
Essay 2 (debatable essay)		Essay 1 で習ったのとは違うパターンのエッセイを分析、推敲する。異なる考えを対峙させることでより効果的に自分の考え等を述べる方法を学ぶ。十分に時間をかけて様々な問題に挑戦し、書く力を伸ばしていくことを期待する。(第1号)	123 - 128
English Instructions Key		各レッスンの指示文の和訳を載せた。(第1号)	129 - 130
Vocabulary List, Translated Stories and Conversations		各レッスンの語い一覧表を載せた。(第1号) 各レッスンの会話文の和訳を載せた。(第1号)	131 - 144
Fluency		発音指導を載せた。(第1号)	145 - 146
Natural English		自然な英語表現をよくある間違いと対比して載せた。(第1号)	147 - 148

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-175	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	英Ⅱ・331	ATLANTIS <i>Higher Learning English Expression II</i>		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 特色1・繰り返しによる学習。

基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持てるよう意を用いた。本文中の会話文には何度も重要文法事項の文を載せ、また前時の復習もできるだけ盛り込んだ内容とした。基礎的・基本的な言語の使用場面を学んだうえで、自分自身や相手についての会話に発展できるよう構成した。すべての英語表現が、外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに留意し重きを置いた。

### 特色2・段階を追った発展的な問題。

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力を身に付け、その上で事実や意見などを多様な観点から考察し、また論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える力が伸ばせるよう工夫した。積極的にコミュニケーションを図ろうとするその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

### 特色3・継続的な学習意欲の育成。

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々の話題やその世界観をふんだんに味わうことができるような構成とした。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

## 2. 対照表

### A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>Stage 1: Context</b> 短い会話文や物語文 応答文 質問文 リスニング True / False	内容（1）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基 づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表され たものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 内容（2）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこ と。 内容の取扱い（2） 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うこ とにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう 工夫するものとする。	各レッスン 1 ページ目	1

Stage 2 : Structure 文法事項の説明	内容の取扱い (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	各レッスン 1 ページ目	
Stage 3 : Practice 文法事項に関する練習問題	内容の取扱い (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 内容の取扱い (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	各レッスン 2 ページ目	
Stage 4 : Expression 自己表現 即興 説明や読みかえ話しかえ 簡潔に書く 発表	内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 内容 (1) イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 内容 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。	各レッスン 2 ページ目	1
		計	2

B. 目次順にそった対照表 (年間指導時数)

※各レッスンについては、内容は上記の通りなので、ここでは主要文法項目のみを記載する

図書の構成		学習指導要領の内容	該当箇所	配当授業時数
Natural English		内容 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。	見出し i ii	適宜
Classroom English			見出し vii viii	適宜
U	Lesson 1	未来のことを表す仮定法	1 - 2	2
N	Lesson 2	if 節の代用	3 - 4	2
I	Lesson 3	as if/though を使った仮定法	5 - 6	2
T 1	Unit 1 Drills	Unit 1 の総復習	7 - 8	1
U	Lesson 4	it seems that / it seems to be / it seem to be ~ing	9 - 10	2
N	Lesson 5	強調構文	11 - 12	2

I	Lesson 6	形式目的語の it	13 - 14	2
T 2	Unit 2 Drills	Unit 2 の総復習	15 - 16	1
U	Lesson 7	(である／であった) と思われているなど	17 - 18	2
N	Lesson 8	関係副詞 how, why	19 - 20	2
I	Lesson 9	関係副詞 that	21 - 22	2
T 3	Unit 3 Drills	Unit 3 の総復習	23 - 24	1
U	Lesson 10	動名詞の意味上の主語	25 - 26	2
N	Lesson 11	比較級 + than SV	27 - 28	2
I	Lesson 12	分詞構文 過去分詞	29 - 30	2
T 4	Unit 4 Drills	Unit 4 の総復習	31 - 32	1
U	Lesson 13	仮定法現在	33 - 34	2
N	Lesson 14	不定詞の受け身 : to be + 過去分詞 (～されること)	35 - 36	2
I	Lesson 15	動名詞の受け身 : being + 過去分詞 (～されること)	37 - 38	2
T 5	Unit 5 Drills	Unit 5 の総復習	39 - 40	1
U	Lesson 16	完了の分詞構文 : having + 過去分詞	41 - 42	2
N	Lesson 17	複合関係詞	43 - 44	2
I	Lesson 18	不定詞の意味上の主語	45 - 46	2
T 6	Unit 6 Drills	Unit 6 の総復習	47 - 48	1
U	Lesson 19	be 動詞 + to 不定詞	49 - 50	2
N	Lesson 20	二重否定	51 - 52	2
I	Lesson 21	独立分詞構文 ②	53 - 54	2
T 7	Unit 7 Drills	Unit 7 の総復習	55 - 56	1
U	Lesson 22	助動詞 + have + 過去分詞	57 - 58	2
N	Lesson 23	未来進行形	59 - 60	2
I	Lesson 24	未来完了形 : will have + 過去分詞	61 - 62	2
T 8	Unit 8 Drills	Unit 8 の総復習	63 - 64	1
U	Lesson 25	完了形の動名詞 : having + 過去分詞	65 - 66	2
N	Lesson 26	付帯状況を表す with + 名詞 + 形容詞/前置詞/分詞など	67 - 68	2
I	Lesson 27	過去完了進行形	69 - 70	2
T 9	Unit 9 Drills	Unit 9 の総復習	71 - 72	1

U	Lesson 28	無生物主語	73 - 74	2
N	Lesson 29	倒置	75 - 76	2
I	Lesson 30	間接話法	77 - 78	2
T 10	Unit 10 Drills	Unit 10 の総復習	79 - 80	1
Charts and Graphs		内容（２）イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲うすること。	81 - 85	5
Debate		内容（１）エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 内容（２）ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 内容（２）エ 相手の立場や考え方を尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。	86 - 91	1 2
Writing (four types of conjunctions, four types of sentences, afterthoughts)		内容（２）イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。	92 - 112	2 0
Essay 1 (three-paragraph essay)			113 - 122	1 5
Essay 2 (debatable essay)			123 - 128	1 7
English Instructions Key		内容の取扱い（３） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	129 - 130	適宜
Vocabulary List, Translated Stories and Conversations			131 - 144	適宜
Fluency		内容（２）ア	145 - 146	1
Natural English		英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。	147 - 148	適宜
			計	1 4 0